

信州大学医学部附属病院 に
通院中または過去に通院・入院された患者様またはご家族の方へ
臨床検査部における臨床研究にご協力をお願いいたします。

2020年11月6日

「検体検査の自動解析による診断支援システム(Diagnostics Support System:DSS)の実用化」に関する臨床研究を実施しています。

信州大学医学部医倫理委員会の審査による医学部長の承認を得て実施しています。
この研究は、「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」の規定により、研究内容の情報を公開することが必要とされています。

倫理審査承認番号	4949
研究課題名	検体検査の自動解析による診断支援システム (Diagnostics Support System:DSS)の実用化
所属(診療科等)	臨床検査部
研究責任者(職名)	菅野光俊(臨床検査技師長)
研究実施期間	倫理委員会承認日～2021年9月30日
研究の意義、目的	アボットジャパン株式会社と、聖隷浜松病院との共同研究により開発された「診断支援システム」について、既存解析ロジックの改良と新たな解析ロジックを開発し、運用および有用性の評価を行います。
対象となる患者様	2019年以降に当院臨床検査部に検体検査依頼があった患者様全て
利用する診療記録／ 検体	診断名、年齢、性別、身体所見、検査結果など
研究方法	・取り込んだ過去データを対象に、シミュレーション機能を用い、既存解析ロジックを改良し、対象となった患者様のカルテ情報を参照し有用性の評価を行います。 ・新たな解析ロジックの開発、運用および有用性の評価を行います。
共同研究機関名	アボットジャパン合同会社(責任者:奥田 忠弘)
問い合わせ先	氏名(所属・職名): 菅野光俊(臨床検査部・臨床検査技師長) 電話: 0263-37-2805

既存の診療記録、検査結果を研究、調査、集計しますので、新たな診察や検査、検体の採取の必要はありません。

当院外へ患者様を直接特定できる個人情報ができることはありません。

必要な情報のみを集計します。研究成果は今後の医学の発展に役立つように学会や学術雑誌などで発表しますが、患者様を特定できる個人情報は利用しません。

この研究にご自分の診療記録等を利用することをご了解いただけない場合、またご不明な点については、上記問い合わせ先までご連絡くださいますようお願いいたします。

研究不参加を申し出られた場合でも、なんら不利益を受けることはありません。ただし、同意取り消しの申し出をいただいたとき、すでに研究成果が論文などで公表されていた場合や、試料や情報が匿名化されて個人が全く特定できない場合などには、結果を廃棄できないこともあり、引き続き使わせていただくことがあります。